

選定委員会の審査結果

岐阜市三田洞神仏温泉の設置目的を十分に理解した上で、公正かつ適正で、より効果的・効率的に管理運営を行うことができる指定管理者の選定について、選定基準に基づき厳正に審査した結果、下記のとおり候補者を選定しました。

なお、候補者は岐阜市議会の議決を経て指定管理者として決定された後、岐阜市と締結する協定に基づき施設の管理運営を行います。

施設名	岐阜市三田洞神仏温泉
所在地	岐阜市三田洞 222 番地
指定管理者の候補者	株式会社 三和サービス 代表者 代表取締役 林 正和 住所 岐阜市西鶉一丁目 52 番地
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）
指定管理者選定委員会（出席委員）	委員長 池谷 尚剛（国立大学法人 岐阜大学教育学部 教授） 副委員長 村井 博史（株式会社 十六総合研究所 常務取締役） 委員 高橋 和宏（一般社団法人 岐阜県中小企業診断士協会） 委員 西口 義郎（岐阜市老人クラブ連合会 副会長） 委員 廣瀬 光國（岐阜市民生委員・児童委員協議会 副会長）
応募団体数	3団体（以下、団体名は候補者を除き、アルファベットで表記する。）
選定理由	<p>岐阜市三田洞神仏温泉の指定管理者の候補者の選定にあたっては、岐阜市福祉部指定管理者選定委員会を設置し、応募者から提出を受けた事業計画書等について、資格審査、選定基準及びその評価項目に基づき書類審査、ヒアリング、プレゼンテーションを実施し、総合的に評価・選考を行った。</p> <p>その結果、下記の理由により、株式会社 三和サービス（以下「候補者」という。）が最適であるとして選定した。</p> <p>なお、選定基準・採点結果、提案された管理経費の額は別表のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 採点の合計点は、候補者、A、Bの順であったが、各応募者とも標準を満たしている。 ● 候補者は 5 つの区分（公平性透明性、効果性、効率性、安定性安全性、貢献性）において最も得点が高く、提案に実現性があり、優れている。 <p>以上、採点の合計点を踏まえ、選定基準別の具体的な提案内容を審査した結果、候補者の提案が他団体の提案に比べて総合的に優れている。</p>

<p>スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 募集要項の公表・配布 平成28年7月1日 • 説明会の開催 平成28年7月20日 • 質問受付期間 平成28年7月20日 ~8月12日 • 申請書受付期間 平成28年7月20日 ~8月19日 • 第1次審査（資格審査等） 平成28年8月下旬~9月中旬 • 第2次審査（提案内容等の審査） 平成28年10月4日
<p>担当部課 (問合せ先)</p>	<p>福祉部高齢福祉課 TEL：058-214-2173（直通） E-mail：kourei@city.gifu.gifu.jp</p>

【別表】

採点結果（単位：点）

区分	選定基準	評価項目	配点	株式会社 三和サー ビス	A団体	B団体
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	『住民の平等利用が確保されること』に対する基本的な考え方（理解度・取組姿勢など）	20	16.40	13.20	12.40
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど				
		情報公開、広報の方策				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	『事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること』に対する基本的な考え方（理解度・取組姿勢など）	50	43.60	38.20	32.60
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容				
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など				
		利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）				
		利用促進、利用者増の方策				
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど				
		施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置				
その他応募者の提案によるもの						
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	『事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること』に対する基本的な考え方（理解度・取組姿勢など）	35	29.40	26.80	23.60
		指定管理経費の設定額				
		指定管理経費の妥当性（サービスとコストのバランスなど）				
		収支計画の妥当性				
		管理経費縮減の具体的方策				

		スタッフ配置の妥当性（無理はないか）				
		その他応募者の提案によるもの				
安定性 安全性	センターの管理運営を安定して行う人的能力、物的能力を有していること	『事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること』に対する基本的な考え方（理解度・取組姿勢など） 当該「公の施設」に類似あるいは関連する事業、業務などの実績	60	48.80	42.80	35.40
		経営基盤の安定性				
		組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など				
		スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制				
		スタッフ（採用予定者も含む）の人材育成の方策				
		リスクへの対応方策（利用者への安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）				
		リスクへの対応能力（資金力、損害賠償能力）				
		その他応募者の提案によるもの				
貢献性	岐阜市あるいは特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	『事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること』に対する基本的な考え方（理解度・取組姿勢など） 地元法人その他の団体の育成（一部業務の再委託）	35	29.80	25.00	22.60
		地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用				
		地元での資材等の調達				
		地元での社会活動等へ参加 地元団体との連携、地元住民等との交流（世代間交流など）				
		その他応募者の提案によるもの				
合 計			200	168.00	146.00	126.60

提案された管理経費の額（単位：円）

年度	株式会社 三和サービス	A団体	B団体
平成 29 年度	40,200,000	38,880,000	39,300,000
平成 30 年度	40,300,000	38,880,000	36,953,000
平成 31 年度	40,350,000	38,880,000	36,053,000
平成 32 年度	40,500,000	38,880,000	35,653,000
平成 33 年度	40,600,000	38,880,000	35,253,000